

事業報告概要書（公表版）

基本情報		指定管理者名及び団体概要					
施設名又はグループ名		（指定管理者名） 武蔵野の公園パートナーズ （団体の概要） 代表者 西武造園株式会社					
指定期間		構成員 特定非営利活動法人NPO birth、ミズノスポーツサービス株式会社、一般社団法人防災教育普及協会					
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
武蔵野公園 浅間山公園 野川公園 玉川上水緑道 武蔵国分寺公園 東伏見公園 六仙公園			令和7年度	令和6年度	令和5年度	公園別支出額	
	項目		金額	金額	金額		
	内訳	収入 計	641,653	809,063	517,764	武蔵野公園	105,513
		指定管理料	641,653	809,063	517,764	浅間山公園	5,072
		利用料金				野川公園	317,058
		その他収入				玉川上水緑道	43,793
	支出 計	648,873	809,338	517,764	武蔵国分寺公園	98,466	
	収支差	△7,220	△275	0	東伏見公園	12,932	
					六仙公園	66,039	
4 管理運営の概要							
公園利用の可能性をさらに広げる視点「CHANCE IN THE PARK」を掲げ、①スポーツやボランティア活動を通じて「心身の健康」、地域連携や協働イベントを通じた「地域コミュニティの健康」、生物多様性や環境負荷軽減等の「地域環境の健康」という3つのヘルシーを実現させる「おさしのヘルシーパーク」を実践した。							
5 管理状況							
①維持管理							
1.生物多様性の保全に配慮した維持管理の実践 国分寺崖線や玉川上水など東京の「水と緑の骨格軸」となる地域で、生物多様性を向上させる維持管理を戦略的に実施した。「浅間山公園保全管理ガイドライン」や「玉川上水緑道保全活用ガイドライン」の実践運用により、地域参加型のパートナーシップによる保全を推進した。浅間山公園や野川公園、玉川上水緑道では、市民団体や学校団体、ボランティア等とのガイドラインに基づいた協働により、水辺再生が実現。過剰な植物の除去と池の掘削により、開放水面の確保や貯水量の確保により、多くの水生生物の繁殖の場を再生させ、新たな希少種をそれぞれ3種ずつ確認できた。野川公園では、最重要保護生物に位置付けているニホンアカガエルの産卵数が過去最多となる212個となるなど、個体数を大幅に回復させられている。全7公園での希少種データベースは152種となり、東京都のネイチャーポジティブ実現に貢献できた。							
2.利用者の安全安心な利用を支える維持管理の実践 倒木多発を受け東京都から要請のあった樹木点検を全公園で迅速に実施し、速やかに危険木の対処を行って使用者の安全を高めた。園内の段差に対しても随時解消に努めて利用者の安全性を向上させ、老朽化が進んだベンチや案内板には直管作業での修繕を進めて、施設の長期寿命化、利用者への快適な施設の提供を行った。維持管理スタッフの安全技能の向上を目的にグループ全体で安全会議を2回実施したほか、公園ごとに施設点検の講習会を実施、作業における事故の撲滅、施設の適切な維持管理、スタッフの安全意識の向上を図った。							
②利用者への対応							
1. パートナーシップによる公園づくりを推進 各公園にて、地域や公園の特性・課題に応じた多種多様な主体と連携し、集まった意見やアイデアを公園づくりに反映させた。武蔵野公園ではスケートボード団体と連携し、初心者向けのスケートボード教室を初実施。だれもが安心して使えるスケートボード広場づくりを進めた。野川公園では、国分寺崖線を管理・所有する産官学民さまざまな主体を集め、「はけの自然とくらしのフォーラム」の第4回を実施。崖線ネットワークを強化した。武蔵国分寺公園では、4月におこなった医療・福祉関係者とのパークミーティングで挙げた「高齢者のつながりの希薄さ」という課題をふまえ、近隣の高齢者向けにフレイル体操や自然ガイドを実施するイベント「緑のびのびひろば」を3月に初実施。地域課題の解決に向けて一歩踏み出した。六仙公園では、地元市民・地元東久留米市と共催で「防災キャラバンin六仙公園」の10回目を実施。武蔵野の公園パートナーズが今年度取得した「フェーズフリー認証」を具現化するイベントに仕立てた。ほかにも、浅間山公園・玉川上水緑道では環境保全ボランティア、東伏見公園では消防関係者を中心に連携を図り、パートナーシップによる公園づくりを進めた。また、全公園を対象に、多摩地域の24企業とワークショップや交流会をおこなう「Park Innovation Labo OPEN DAY」を初実施。今後、各公園で官民連携による公園づくりを進める基盤も整えた。							
2.利用者ニーズの把握、反映とわかりやすい情報提供の実施 日々の意見情報や公園の状況について、パートナーズ独自のパークモニタリングアプリを用いて業務日誌に記録しデータを蓄積し、管理する7公園に対する年間総数14,707件の意見情報をデータベース化。植栽管理、利用マナーなどの苦情要望については早急に対応を検討し、スピード感を持って適切に対応してきたため今年度は要望が35%減少した。すぐに対応できない案件については対応完了まで進捗確認を行い、未対応ゼロを徹底。また、広報においてはホームページやSNSを始め、東京都プレスリリース、自治体広報、各メディア等様々な媒体を活用し効果的な情報発信を行った。SNSではInstagram245件、Facebook236件の投稿で公園の魅力やイベントの情報提供に取り組んだことで、Instagramのフォロワー数が2,238人まで増加した。							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：							
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
武蔵野公園	4.6	4.4	4.2	4.4	4.2		
浅間山公園	4.7	4.7	4.0	4.4	4.3		
野川公園	4.8	4.6	4.4	4.6	4.5		
玉川上水緑道	4.6	4.3	3.7	4.3	3.9		
武蔵国分寺公園	4.7	4.7	4.0	4.6	4.5		
東伏見公園	4.7	4.6	4.1	4.4	3.9		
六仙公園	4.6	4.4	4.2	4.3	4.2		
7 入園者数の状況（単位：人）							
施設名	当該年度	分析					
武蔵野公園	434,028	スケートボード広場の開設により広場周辺の賑わいが増し、冬期の利用が増加した。					
浅間山公園	153,525	ムサシノキスゲやキンランを見に、他県からも訪れる。キスゲフェスティバルの来場者が増加している。					
野川公園	1,538,636	記録的な猛暑により夏場の利用者の減少が見られ、全体を通して微減となった。					
玉川上水緑道	414,854	適切な維持管理、保全活動により、来園者に良好な緑道環境を提供することができ、来園者数の増加に繋がった。					
武蔵国分寺公園	1,112,899	地域連携での多数のイベントを春にも展開、大型持込イベントの開催日数が減ったにも関わらず、昨年とほぼ同数となった。					
東伏見公園	1,284,324	初となる公園イベントを開催したことや鉄道機関との広報連携で認知度が向上し、利用者数が増加した。					
六仙公園	207,108	11月に遊具広場がリニューアルしたことでファミリー層の利用者が増加した。					
合 計	5,145,374						



都立武蔵野公園

所在地：小金井市、府中市
開園面積：25.6ha

公園
特性

- 春には、**約40種・600本のサクラ**が園内を彩る。
自由に散策ができる園場がある
桜マップの配布
- 苗圃では様々な木々が見られる。
- 武蔵野の**原風景を感じさせる風情**が残る。
- 古くから**地域活動の拠点**として親しまれている。
はらっぱ祭り／わんぱく夏まつり等
- 武蔵野本来の林床生態系**が残る。
ニリンソウ群生地

ポテンシャル
分析

テーマ

武蔵野の面影が残る
多種の桜と苗圃がある公園

地域
特性

- 園内中央には野川が流れ、北側には調整池を挟み**国分寺崖線が残る**。
- 「武蔵野夫人」等多くの**文学の舞台となった「はけの道」が北側に位置する**。
- はけの**地域特性を活かした、地域活動が盛ん**。

New!

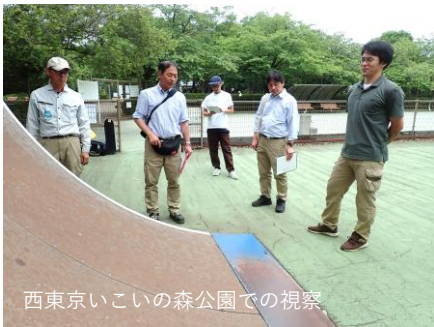
1

適切な維持管理を行うための取り組み

OPEN前の綿密な準備によりスケートボード広場の安定した運営を実現！

▶令和7年6月から**スケートボード広場の運営が開始**。開設に向け、**OPEN前から他施設の視察や運営方法の検討**を行うとともに、施設点検や受付対応に関する講習を実施し、**運営体制の整備を進めた**。その結果、OPEN後は**大きなトラブルもなく、円滑な施設運営**ができています。

OPEN前 他施設への視察、運営方法の検討



西東京いこいの森公園での視察



東京都・スケートボード協会との協議

東京都や西東京市の**スケートボード施設を視察**。運営方法や受付方法、メンテナンスについて情報収集した。東京都も含め、**運営方法について協議・検討を重ねた**。



専門業者による講習会



受付スタッフへのレクチャー

日常点検スタッフへの**専門業者による点検講習会、対応マニュアルの作成、およびレクチャー**を行い、**安全管理体制を強化**した。

OPEN後 危険個所の点検、長寿命化



OPEN初日の広場

日々**100名近い来場**があるも**大きなトラブルもなく円滑に運営**ができています。



不具合箇所は直営スタッフが補修

日常点検で確認された**不具合は迅速に対応**。**経年劣化を防ぐ対策**も実施。

New!

環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

2

初心者向けイベント開催！誰もが安心して利用できるスケートボード広場に

▶利用者が安全かつ快適に利用できるよう、ルールやマナー啓発を目的とした初心者向けイベントを実施。講師であるノガワスケートボード協会（府中市ローラースポーツ連盟所属）とパークミーティングを行い、公園発案のマナー講習も取り入れた。当日は基礎姿勢や安全な滑り方の指導に加え、保護者も参加型で順番待ちや声かけなど広場利用時のマナー・ルールを説明。参加者からは「マナー講習まで実施してくれる講座は少ないので助かる」との声があり、初心者の不安軽減や安全意識の向上につながった。



イベントの事前打ち合わせの様子



インストラクター資格所有者による指導



最後はみんなではいポーズ！

安心して利用できる施設の提供と利用者要望の反映

3

樹木点検力の向上と後継樹育成により
安全性と景観を両立した樹木管理を実現

▶3グループ共同の樹木点検講習を受けて、維持管理職員全員を対象に樹木医資格所持者の指導による、所内樹木点検講習を実施。3回に分けて少人数で密度の濃い内容となり、点検時の着眼点や方法を共有することができた。

▶くじら山はらっぱにあるシダレヤナギは樹木診断の結果伐採となり、利用者から惜しむ声が寄せられた。伐採木から枝を採取、挿し木で育成することを告知すると「うれしい」との声をいただき、来園者の想いに寄り添うことができた。



樹木の腐朽状況の確認方法を講習



2人1組で実際に点検、結果を発表



はらっぱのシンボリック存在だったシダレヤナギ



挿し木は順調に生育している

都民や地域と連携し、公園の魅力と地域価値を高める取組

4

プレーパーク団体と協働で花壇の
植付作業を継続実施！

▶小金井市のプレーパーク事業で公園を利用する「こがねい子ども遊パーク」と協働し、園内花壇の植え付けを実施。今年度も自然体験への要望を受けて実施し、花壇活動を通じて公園への愛着を深めてもらう機会となった。

子供達も知っているひまわりを植栽
パークコーディネーターが植付を指導した

成長したひまわり

公園の多様な過ごし方を提案する取組

5

フリーマガジン
むさしのパークライフマガジン第21号発行

▶「ネイチャーポジティブ」をテーマに据え、地域の編集室と共に6ヵ月掛けて制作。浅間山公園のムサシノキスゲ、野川公園のニホンアカガエル、玉川上水緑道のキンラン再生の取組と成果を挙げ、自然再生における公園の役割を伝えることができた。



エコロジカルマネージャーの監修で誰にも分かりやすい誌面を作ることができた

その他の取組

- ・国際基督教大学との地域性種苗育成プロジェクト
- ・植栽管理の基礎知識・技能習得のための研修参加
- ・災害時に機能する各施設の点検と対応力向上
- ・所内樹木点検、機械取扱い講習等技術力向上

- ・景観に配慮した園内周知看板の設置
- ・スポーツイベントチャレンジキャラバン開催
- ・桜マップのリニューアルを実施
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーン

- ・季節を楽しむセルフガイドシート配布
- ・生物多様性スポットの順応的管理
- ・「森の地図スタンプラリー」実施
- ・パークモニタリングアプリの運用

など



都立浅間山公園

所在地：府中市
開園面積：8.8ha

<マネジメント目標（浅間山公園パークマネジメントプランより）>

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 全国で唯一のムサシノキスゲの自生地である他武蔵野の面影を残す動植物が豊か。
- 公園懇談会「浅間山を考える会」を定期開催。市民団体や自治体、大学等で構成。
- 浅間神社、おみたらし神社、人見四郎の墓跡、富士見百景などの歴史的文化資産がある。
- 毎日の散歩に訪れる利用者のほか、花の見ごろの時期には遠方より来園するナチュラリストも多い。

ポテンシャル
分析

テーマ

武蔵野の生物多様性の
保全モデル

地域
特性

- 多摩の台地が古多摩川等で削られ、残った小高い丘が浅間山となった。
- 公園東側に隣接した多磨霊園、近隣の府中の森公園、東京農工大学の緑地がある。
- 近隣に保育園、小学校や高校、大学があり、環境教育の場として活用されている。

1

安全で安心して利用できる施設の提供と希少種の生育環境を改善する取り組み

樹木点検をもとに伐採を実施！公園内・周辺地域の安全確保と植物の生育環境を改善！

1. 樹木点検で計239本を樹木医が入念に点検

- ▶利用者の安心安全のため、樹木医を含む職員2人1組による入念な点検を実施。その際、樹木医による腐朽状況の見方や危険な子実体の種類を各維持職員に講習し、知識と技術が向上した。



2人1組の複数の目で点検を実施



根株腐朽を起こす子実体に関する講習

2. 危険木の伐採により安心安全な空間を創出

- ▶点検により危険木と判断された樹木、カシノナガキクイムシが穿孔後、枯れずに根元が腐食、オオミコブタケが発生し、倒木の危険性が高いものを中心に処置を実施し、安全性を高めた。



根元部分の腐朽状況に着目



剪定や伐採を実施

3. 周縁部の剪定・伐採により周囲の安全を確保

- ▶周縁部には住宅や往来の多い都道が隣接しており、倒木被害からの安全確保が課題となっていた。万一倒木した際にも住宅や都道まで達しないように剪定・伐採を実施。安全性を高めた。



倒木しても住宅に達しないように剪定



都道沿いの危険木を伐採

4. 林床植物に配慮した伐採計画作成・実施

- ▶東京農工大学と協働で実施した植生調査の結果を踏まえ、林床植物への影響に配慮した伐採計画を作成・実施。林床植物の生育に効果的、かつ、公園の見どころとなる場所を優先して整備を行った。今後の植生の変化が期待される。



before



after

林床が暗くなった樹林

林床が明るくなり

2 パークミーティングを通じて産官学民連携イベントを実現！

産官学民様々な主体と共に、協働イベントを多数実現した。スムーズな連携を実現するにあたり、公園の多様な関係者が集まる年4回のパークミーティング「浅間山を考える会」にて、あらゆるイベントの計画・報告・意見交換を実施。協働・イベント担当のパークコーディネーターが中心となり、多様な意見・アイデアをバランス良く受け止めながら企画調整を行い、協働型の公園づくりを推進した。

【浅間山を考える会】

浅間山で活動する産官学民様々な主体で結成されたパークミーティング。公園の管理・活用・保全等について多様な立場と視点から意見交換を行い、浅間山公園のより良い姿について考える場となっている。



「浅間山を考える会」の様子

■ 参加団体：浅間山自然保護会/府中野鳥クラブ/浅間山ウォーキングクラブ/東京農工大学植生管理学研究室/府中市生活環境部環境政策課/府中市都市整備部公園緑地課/東京都建設局西部公園緑地事務所/お山で遊ぼう実行委員会/武蔵野の公園パートナーズ（事務局）

第31回キスゲフェスティバル

▶ 全国で浅間山だけに自生するムサシノキスゲが見ごろとなる時期に第31回となる「キスゲフェスティバル」を開催。

▶ 府中観光協会や東京府中FM等と連携して新たに観光情報誌やラジオで発信した。あわせてチラシ配架箇所を4か所増やし、来場者数は昨年度より約3,000人増加した。



森キッズクラフトDAY×ドングリde森づくり

▶ ドングリなど公園で拾える自然素材を使用した親子向けのクラフト企画「森キッズクラフトDAY」を府中市と共催。

▶ 府中市と協力し、市報掲載、市民向けメーリスの配信等で告知！広報に注力したことで参加人数は昨年度比約2倍！



冬鳥の観察会

▶ 市民団体「府中野鳥クラブ」と協働で、調査イベント「冬鳥の観察会」を実施。申し込みは満員御礼となった。

▶ 「地域の自然について理解が深まった。」との感想が挙がり、公園の魅力を十分に伝えることができた。



3 産官学民で進めるナラ枯れ後の森づくり

ナラ枯れ対策の取組

協働による森づくり



新たに地域性種苗を植栽

▶ ナラ枯れの長期対策として、伐採跡地に植栽した苗木周辺の草刈りや、新たに育成した地域性種苗の植栽を市民参加により実施。都民と共に森づくりプログラムを進めながら、次世代につながる森づくりを推進した。

ナラ枯れ後のゾーニングの見直し



現場で伐採後の状況を確認

▶ ナラ枯れ木伐採後の樹林管理の課題や現行ガイドラインの課題について、産官学民の関係者と協議を進めた。大きく環境が変化したエリアのゾーニングを再検討し、希少種保全の取組に関するルールの共通認識を図った。

その他の取組

- ・ハイイログケモ確認による駆除と被害防止啓発
- ・ナラ枯れ被害拡大に伴う園路封鎖
- ・施設名称変更「せんげんひろば」
- ・農工大によるナラ枯れ被害調査

- ・「森の地図スタンプラリー」実施
- ・「冬鳥の観察会」実施
- ・ボランティアの安全管理講習実施
- ・ナラ枯れ後の樹林再生計画作成

- ・若松小学校との協働による全山清掃
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーン
- ・野草観察、昆虫採集マナーアップの啓発
- ・多様な生物が生息する都立公園づくり事業の検討会参加

など

4 水辺復活プロジェクト始動！

生物多様性を充実させる取組

▶ 底泥のひび割れにより一時的に枯渇していた池について、直営スタッフで修繕を実施。再生後はトンボやチョウ、野鳥の利用が確認され、生きものが集う魅力的な生息空間として機能していることが確認できた。



ポンプ交換前に除草を実施



水漏れ箇所を修復しながら貯水



作業開始2カ月後に池が完成



池の淵に産卵するヤブヤンマ



都立野川公園

所在地：調布市、小金井市、三鷹市
開園面積：40.3ha

<マネジメント目標（野川公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 武蔵野地域の7公園を**統括する公園**。
- 公園の前身であったゴルフ場を思わせる**大芝生**と季節の自然を楽しめる**大きな樹木群**が魅力。
- 園内には**野川**が流れ、公園北側には**国分寺崖線の斜面緑地（通称：はけ）**が隣接。
- はけの道の自然を観察できる**自然観察園と自然観察センター**がある。
- 自然観察園、自然観察センターでは、**約100名のボランティアが保全活動**を実施。

ポテンシャル
分析

テーマ

ここに集まる・ここから広がる
武蔵野の自然と文化

地域
特性

- 近隣に武蔵野公園、武蔵野の森公園、多磨霊園、国立天文台、国際基督教大学などの**大きな緑地が位置**する。
- 東八道路が園内を東西に横切り、西側には**西武多摩川線**が通る。
- アメリカンスクール、国際基督教大学、東京外国語大学などが近隣にあり、外国人の住民が多い。

地域コミュニティとの連携による地域価値の向上につながる取組

1 「第4回はけの自然とくらしのフォーラム」で崖線ネットワーク拡充！

国分寺崖線（通称：はけ）は、立川市から大田区まで約30km続く緑地であり、東京の緑の骨格軸として景観形成に重要な役割を担っているが、管理が入り組んでいるという課題がある。本崖線を一体的な緑地として保全・活用するため、**産官学民の多様な主体と「第4回 はけの自然とくらしのフォーラム」を開催**。エクスカッションや事例紹介、ワークショップを通じて取組事例の共有や課題の意見交換を行い、**ネイチャーポジティブ実現に向けて連携を強化、崖線ネットワークを拡充**した。



開催形態

- 主催：武蔵野の公園パートナーズ
- 共催：NPO法人Green Connection TOKYO
- 後援：東京都、国分寺市、三鷹市、小金井市、府中市、調布市、世田谷区

参加団体

- 行政：東京都（都市整備局、環境局、建設局）、府中市、三鷹市、世田谷区
- 学校：国際基督教大学、東京経済大学、東京農工大学、ASIJ
- 企業等：(株)日立製作所、(株)地域環境計画、はけの道編集室、(株)SUBARU、(一財)世田谷トラストまちづくり
- NPO等：特定非営利活動法人花と緑のまち三鷹創造協会、特定非営利活動法人地域自然情報ネットワーク、NPO法人グリーンネックレス、小金井市環境市民会議、むさしのガーデン紀行（一般社団法人 武蔵野コッツウォルズ）、都立殿ヶ谷戸庭園（東京都公園協会）、都立神代植物公園（東京都公園協会）、深大寺、野川公園緑の愛護ボランティアの会



▶本フォーラムのようすは、文字と図、イラストなどを用いてリアルタイムで可視化する「**グラフィックレコーディング**」で記録（左記）。フォーラムの全体像を、即座に、かつ視覚的に共有し、参加者の内容理解やネットワーク意識の醸成に寄与した。

▶本フォーラムをきっかけに、**野川公園に隣接する(株)SUBARUと初連携が実現**。野川公園の落ち葉かきなど、**自然環境保全の体験プログラムを実施**し、はけ沿いのネイチャーポジティブの輪が着実に広がっている。



New!

2

多様な主体との協働・意見交換の場の創出

24企業が参加！官民連携で公園の新しい可能性を切り拓く第一歩を実現！

武蔵野・狹山・多摩の3グループ連携事業として、**企業を対象にPark Innovation Labo OPEN DAYを初開催**。多摩エリア密着型の出版社・けやき出版と共に企画運営した。**24社32人が参加**し、講演・ワークショップ・交流会を実施。公園スタッフと地域企業の新たな関係性が構築でき、**今後官民連携により公園づくりを進める基盤を築くことができた**。次年度以降、公園を軸とした地域課題の解決・地域価値向上を目指し、イベントの中で挙がったアイデアなど官民連携の取組を進展させていく。



広報チラシ

参加した24企業（五十音順）

相羽建設 / アシック整体院 / アダムスオーサムバイ
/ 磯沼ミルクファーム / アンブラージュインター
ナショナル / カーサディカミーノ / かぶかぶ山の
ようちえん / カルチュア・コンビニエンス・クラブ
/ 京王SCクリエイション / SAKE BOUTIQUE
SEKIYA / SUBARU / 西武鉄道 / ニューモア（想像
楽工） / 多摩グリーンサービス / 多摩信用金庫 /
立川アスレティックFC / つばさホールディングス
/ デジタルハリウッド / 日都産業 / フジコデザイン
/ 文伸 / まちづくり立川 / 森の演出家協会 /
ユニニコ



参加者集合写真

New!

3

国分寺崖線に関わる産官学民ネットワークの中核を担い、環境人材交流の拠点となる公園づくり

自然観察センターを地域の自然・歴史・文化のネットワーク拠点として再出発！

2025年11月にリニューアルオープンした自然観察センターで、**地域団体と連携した開園45周年プロジェクトや公園スタンプ制作、展示計画図制作**を実施。「**野川とはけ周辺の自然・歴史・文化を守り育むネットワーク拠点**」を新ミッションに掲げ、再出発した。

開園45周年プロジェクトで地域情報を発信！

▶野川公園緑の愛護ボランティアの会や三鷹市生涯学習課など**地域のつながりを活かして、地域の魅力や自然保全の取組を発信**。



地域の多様な主体が運営に関与



公園や地域の取組紹介



広報チラシ

展示リニューアル計画図完成！

▶建物に合わせて、展示もリニューアルを計画。「地域の自然・歴史・文化を守り育むネットワーク拠点」として機能するよう、**展示内容や動線等見直し、計画図にまとめた**。



4

公園における樹木点検・管理業務の実施

専門知識を生かした、樹木管理の取り組み

▶樹木の太径木化や近年の異常気象により、樹勢が弱まり倒木や落ち枝が発生する危険性が高まっている為、日常的な点検だけではなく更なる**専門的な知識**を用いて、園路際や境界を中心に**240本の樹木の点検**を実施、安心して利用できる樹木管理を行った。



園内の樹木を用いて点検方法の確認

STEP1

樹木医による樹木点検講習に参加

樹木点検を行う上で重要な視点や点検の方法など、**専門知識と技術を習得**。

STEP2

スタッフの樹木点検スキルの向上

講習を元に維持管理スタッフ全員に講習を実施。樹木点検の際には**打診点検**や**貫入鋼棒による根株点検**を導入し、危険樹木の早期発見に努めた。

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・ランドスケープチェックの実施
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施

- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・「森の地図スタンプラリー」実施
- ・環境教育グッズの製作、デジタル化（レンジャーミニ図鑑など）

- ・ボランティアとの自然保全作業
- ・BBQオンライン予約システムの運用
- ・オリジナルグッズ/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
- ・園内全域に及ぶ整備工事への協力

など

New!

5

トップアスリートによる地域スポーツ振興

アスリートクリニック開催！

▶プロの技術や精神の伝授と参加者間の交流を促進するプログラム「アスリートクリニック」を**野川公園のテニスコートで初開催**。**元日本代表の小林幸司氏を講師に迎え**、ソフトテニス教室を実施した。トップアスリートから指導を受けることができる貴重な体験を通して**スポーツの普及やスポーツ振興に寄与することができた**。



トップ選手の技術を間近で体感



習熟度に合わせた個別指導も実施



公園
特性

- 多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶ玉川上水に沿って造られた緑道で、杉並区浅間橋から福生市の平和橋までの**24.4kmが開園**されている。
- 古くから多摩・武蔵野エリアの人々に親しまれ、平成15年には、羽村取水口より下流地域が**国の史跡に指定**された。
- 一方で、**老木化した樹木対策や園路のぬかるみ対策**など、保全面と快適性の確保が課題。

ポテンシャル
分析

テーマ

都市に潤いをもたらす
水と緑のグリーンライン

地域
特性

- 玉川上水と周辺の自然と文化を守る**市民活動が盛ん**。
- 小金井公園、井の頭恩賜公園などの公園緑地をつなぐ緑道であり、**ウォーキングの利用も多い**。
- 近隣には、小・中・高および大学が多く隣接し、JRや私鉄各線の駅が近いので、**通勤・通学のための利用が多い**。
- 小金井橋を中心とした約6kmは**小金井桜の名所**として知られ、大正13年には国の名勝指定も受けた。

所在地：福生市、昭島市
立川市、小平市
三鷹市、武蔵野市、杉並区
開園面積：14.7ha

都立玉川上水緑道

<マネジメント目標（玉川上水緑道パークマネジメントプランより）>

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

New!

1

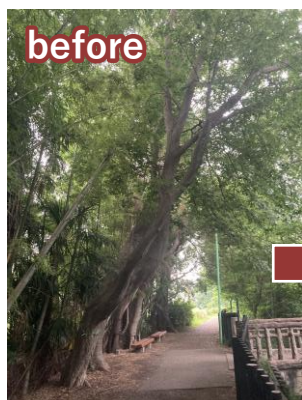
適切な維持管理を行うための取組

要望に応えた樹木管理で、地域住民の安全・安心を実現！

樹木が住宅や道路等と非常に近い玉川上水緑道では、住民からの剪定要望が非常に多く寄せられる。それら要望に対しては、**二件一件現地を確認して対応を実施**。その場で解消できる場合には、緑道専門の直営スタッフ「緑道キーパー」が対処、そうでない場合には委託業者への発注を計画。**迅速な対応で、地域住民の安全・安心を実現している。**

樹木伐採の要望と反対意見の対立には、両者の意見を慎重に検討して解決へ

- ▶緑道に隣接する民有地の開発に伴う越境樹木の伐採要望があり、作業告知を出したところ一部から反対意見が寄せられた。これを受け、**双方から複数回にわたり意見の聞き取りを行うとともに、東京都と協議・調整を重ねた**うえで対応方針を検討した。最終的には要望者の事情等も踏まえ、東京都の判断のもと伐採を実施した。作業に際しては反対の意思表示も見られたが、適宜人員体制や保安体制を見直すなど、**臨機応変に対処し計画を完了**した。



伐採要望があがった樹木



作業時には反対行動があったが、適切な対応で伐採を実施

頭頂部軽減により倒木を防ぐ剪定

- ▶要望により剪定をする場合には、頭頂部を軽くして**倒木を予防する剪定**を合わせて行った。



要望を受け、越境の解消を計画



越境を解消し、さらにボリュームを抑えることで倒木のリスクも低減させた

生物多様性の向上を目指す維持管理の考え方と取組

2

3 市民団体とのパートナーシップ型保全でネイチャーポジティブを実現！

玉川上水緑道保全活用ガイドライン（杉並区・武蔵野市エリア版）を実践運用。関係者が広く活用できる技術的指針の確立によりボランティア活動が活発化。20km超の玉川上水を軸に、流域にネイチャーポジティブ実現の輪を拡大。

【玉川上水緑道保全活用ガイドライン】

自然と歴史を次世代に継承し、安全安心に利用できるグリーンウェイとして、関係団体等が共通認識を持って管理を進めるための基本指針。エリアごとに策定している。

旧岩通ガーデン（杉並区）

- ▶ 杉並区エリア版ガイドラインに基づく水辺再生プロジェクト始動。過剰に繁茂した水生植物を抑制し、水面を確保。カエル・トンボ類の繁殖環境を創出



作業前（夏）
水生植物が過剰で水面が見えない



水生植物を伐根
防草シート設置により増殖抑制



作業後（冬）
池の1/3ほどの水面を確保

生物多様性スポット（武蔵野市）

- ▶ 武蔵野市エリア版ガイドラインに基づく保全。希少種の保全と、自然散策の場づくりを両立する生物多様性スポットの創出



玉川上水内の希少種を緑道に誘致



希少種ニリンソウ

子ども達の健やかな成長を応援するプログラム

3

学校向けキッズレンジャープログラム！環境教育で未来の環境保全の担い手を育成！

- ▶ 三鷹市小学校との連携で、14年連続のキッズレンジャープログラムを実施。観察－調査－保全の一連の流れでパークレンジャーの仕事を体験し、地域の自然・文化や都市のみどりの重要性を学び、調べ、守る環境教育を推進。地域のネイチャーポジティブを実現させる次世代の担い手を育成できた
- ▶ 小平市、昭島市の小学校にも、ニーズに沿った環境教育プログラムを展開した

観察



玉川上水の歴史、自然、文化について学ぶ

調査



パークレンジャーが生きものの調べ方をレクチャー

保全



堆積した落ち葉を回収し、植物の芽吹きを促す

New!

4

公園の魅力向上のための自主事業の提案

スポーツコーディネーター×パークレンジャー！ガイド付きノルディックウォーキングを開催

- ▶ スポーツコーディネーターがウォーキング方法をレクチャーし、パークレンジャーの自然解説を聞きながら、緑道を約4kmウォーキング
- ▶ 専門技術を持ったスタッフのコラボレーションで、紅葉に彩られた玉川上水緑道の魅力をすみずみまで堪能していただくことができた。参加者からは「自然解説がたっぷり聞けて贅沢な時間でした」「専門スタッフお二人の対応が素晴らしく楽しかった」といった声をいただくことができた。



ポールの使い方をレクチャー



風景を楽しみながら歩く参加者



丁寧な自然解説が大好評

とってもぜいたくな
プログラム！

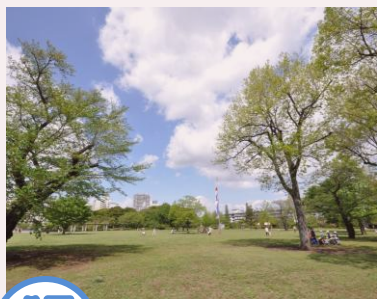
その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン&ランドスケープチェックの実施
- ・生物多様性普及啓発事業

- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・環境教育グッズの製作、デジタル化（レンジャーミニ図鑑等）

- ・多言語パンフレットの発行
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・オリジナルグッズ

など



都立武蔵国分寺公園

所在地：国分寺市

開園面積：11.5ha

公園
特性

- 南側は、**国分寺崖線**につながる野鳥の森、木々に囲まれた広場が落ち着いた雰囲気。北側には外周500mの**円形広場**と水景施設からなる開放感のある空間が特徴。
- 国分寺の魅力再発見をテーマに、市内のカフェやギャラリー、大学等が連携して開催する「**ぶんぶんウォーク**」が**毎年秋に開催**され、公園がメイン会場となっている。
- 武蔵野の天平史跡群の中に位置し**、まち歩き観光者や自然散策者が多く訪れる。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 旧国鉄の「中央鉄道学園」等の跡地を整備してつくられており、周辺地域は**埋蔵文化財包蔵地に指定**されている。
- 周辺には「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの**名所、旧跡が点在**している。
- 公園周辺には集合住宅が立ち並び、**感度の高い子育て世代が多く、地域活動が盛ん**。

歴史・文化と水のまち
“むさしのパークライフ”の提案

1

地域連携による地域価値の向上につながる取組

都民協働で様々なイベントや環境保全を展開！ 人・自然・まちを元気に！

あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト

=地域の皆さんと一緒に企画運営する公園主催イベント

- ▶第3回でのわ市：多摩地域の美しい作品や音楽・食べ物を日常につなぐイベント。約90のクラフトやフード、ライブが集まった
- ▶うくフェス：「こくカレ*」卒業生と企画運営した、公園の解放感を最大に活かしたウクレレイベント。青空ヨガやフラダンスも。
- ▶Sunday Park Cafe：地域の交流の場を創る春秋のカフェイベント。市民提案の焚火を、「こくカレ*」生と協力し、初実施

てのわ市 出展90 来場5,041人



うくフェス 来場1,504人



Sunday Park Cafe 7回開催 来場 2,282人



ウェルカムガーデンづくり

- ▶手ぶらで参加できるボランティア「ちょいボラDAY」で花苗の植付け
- ▶**公園の落ち葉腐葉土づくりで資源循環の取組も**



New! 市民と保全活動

- ▶生物多様性スポット「野鳥の森」、鳥の好む実をつける木を明るい所に移植！
- ▶「**こくぶんじカレッジ***」など、**地域の皆さんが参加！**



*こくぶんじカレッジ (=こくカレ)

「まちが自分ごとになる」をテーマに、市民主体のプロジェクト運営について学ぶ国分寺市の連続講座。公園は様々な取組で卒業生と連携している

2

地域や利用者など都民からの意見に対する適切対応と取り組み

園内利用ルールの見直しで利用を適正化 みんなが愛せる公園を実現



猛暑に夏の風物詩
花火のできる公園

- ▶近隣からの苦情が多い中、禁止ではなく、ルール見直し、明示、職員と警備員による夜間巡回で丁寧な声かけ等で花火利用を適正化。



ゆずりあった利用で
本来の公園らしさが戻る

- ▶周囲への配慮がない危険、独占的な利用を一部制限。公園に穏やかな雰囲気が戻った
- ▶**障害者団体の利用は「合理的配慮」を行い、一部規制を免除。**

3 地域連携による地域価値の向上、健康増進につながる取組

医療・福祉関係のパークミーティングから、シニア健康イベント実現

New! 公園×医療・福祉パークミーティング実施

- ▶地域の病院、民生委員など6主体と、**健康増進等での公園の価値を検討、意見交換。**



シニアのために
公園は何ができる！？

新規ボランティア実現！

- ▶社会福祉協議会の就労支援プログラムと連携。保全活動や花壇作業実施

シニア向け健康イベント「緑のびのびひろば」実施！

- ▶**スポーツコーディネーターのフレイル予防体操×パークレンジャーの自然案内で生きる活力UP!** 社会福祉協議会と地域包括支援センターも協力！



緑の力でWELL-BEING！

4 公園の自然を核とした環境教育と地域協働の推進

学校・企業・国分寺市との連携により環境教育、環境保全を展開

公園の自然を活用し環境教育

- ▶市内の小学生へ、公園の自然を活用した体験型環境教育を実施。五感で自然に親しみ、**生物多様性を理解。環境保全も体験**



参加生徒 昨年の倍374人

協働の力で外来植物を徹底除草

- ▶重点対策外来種に指定されているオオブタクサについて、ボランティアや企業CSRと連携して園内全体で除草**花粉飛散前に、ほぼすべてを除草**



協働による外来種駆除16回135人

市主催の環境フェスで「むさしのカレッジ」

- ▶国分寺市主催の環境フェス内にブースを得て『むさしのカレッジ「国分寺崖線と生物多様性」』を開催。国分寺崖線の自然や公園における生物多様性保全の取組について、パネル展示および講義を実施。**多くの方に生物多様性の大切さを届けた。**



ブース来場 210人

パネル展示

スライドトーク

5 日常管理の強化と直営スタッフの技術力で推進する維持管理

公園の魅力を引き出す維持管理、景観と快適さをブラッシュアップ！

円形広場 / こもれび広場

- ▶円形広場は11月の刈止めまで**毎週草刈を実施(合計20回 前年比+4回)**。
常に利用者に喜ばれる遊び場を提供。



草刈で均一に整備された広場

であい橋 桁下充填工

- ▶であい橋の桁下180mのひび割れを直営にて**HSS工法を用いて修繕**。
SDSを活用し安全措置を講じ作業。



ひび割れの拡張と二次裂化を防止

武蔵の池

- ▶ポテンシャル分析を基にランドスケープチェックを実施し修景を改善。
新たなフォトスポットとして衆望。



四季を感じさせるベンチからの眺望

竹林整備

- ▶閉鎖管理地の竹を108本整備し園内への採光を改善。野鳥の森外周路へ**チップ化し敷設、良好な環境を提供。**



野鳥の森園路へ敷き均した竹チップ

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・公園パンフレット改訂
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施
- ・総合案内板改修

- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・レンジャーミニ図鑑などセルフガイドシート配布
- ・地域連携イベント「ぶんぶんワーク」
- ・泉地区 パーゴラ2基の更新

- ・キッズプログラム「あそぶの森」
- ・点字パンフレット貸出
- ・PLAY BOOK、パークライフマガジン配布
- ・桜マップ、樹木マップ配布
- ・Park innovation labo open day

など



都立東伏見公園

所在地：西東京市
開園面積：5.3 ha

公園
特性

- のびのびと体を動かせる多目的広場が広がり、**西武鉄道を見下ろす展望の良い休憩施設**がある。
- 近隣に大きな広場を有する公園がないため、**地域の子どもの格好の遊び場**となっている。
- 一方で、利用者がふえ、安全管理や利用指導が課題。

ポテンシャル
分析

テーマ

緑と水に恵まれた
ヘルシーパーク

地域
特性

- 特別緑地保全地区に指定されている**東伏見稲荷神社の森が隣接**し、緑豊かな景観を形成している。
- 公園南側には、石神井川が隣接し、**緑と水に恵まれた立地**にある。
- 公園北側には、東西の西武新宿線が隣接しており、**西武柳沢駅からのアクセスが良く**通勤通学のための通過利用も多い。

New!

1

生物多様性の保全に関する取組

身近な自然を楽しむ時間を提供し、生物多様性の大切さを知るきっかけに！

- ▶ 親子の公園利用が多い東伏見公園で、身近な自然素材で楽しむイベント「クラフトPICNIC DAY!」を初開催。**環境教育の第一歩「しあわせな自然体験」を提供**。参加者は**143人**と盛況となった。
- ▶ 選べる3種のクラフトアクティビティに加え、キッチンカー3台による解放感いっぱいのカフェ、公園の取組やイベントを紹介するコーナーも設置。
- ▶ 参加者からは、「次はいつやるの?」「知らなかった植物を発見した」「体験しやすい内容を親子で楽しめた」など、**満足度の高い声が多く集まり、イベント全体の参加者は370人にのぼった。**



イベントチラシ



参加者による作品の例



インフォメーションコーナーで様々な情報を提供



メニュー豊富なキッチンカーに人々が集まるようす



パークレンジャーが自然について解説

適切な維持管理を行うための取組

2

アスレチック遊具周辺の芝生造成工事を実施！遊具周りの安全性が向上！

- ▶ 斜面に設置されている「ネットロープクライマー」、「壁登りライン下り」遊具周辺一帯の芝と土が利用による踏圧と降雨により流れ、遊具マットや基礎との段差が生じていた。段差での転倒を未然に防ぐため客土の下地処理・芝張り・芝保護マットの敷設を行った。
- ▶ 保護マットによる持続的な芝の根の保護、成長促進、地盤の安定で土砂の流出防止と段差解消を図り、竣工当時のように遊具周辺の安全性が大幅に向上し、利用者へ安全な環境を提供することができた。



降雨や踏圧で芝と土が流出



下地処理後に土入れ、芝張り施工



芝の上に芝保護マットを設置



芝根の保護や土砂の流出を防ぐ

あらゆる世代に届ける心身のヘルシープログラム

3

スポーツの楽しさを知る機会・日々の健康づくりの場として各種スポーツ教室を実施！

ALL Parks

- ▶ 「親子スポーツ教室」や「キッズ＆ジュニア走り方教室」、「パークヨガ教室」や「はじめてのノルディックウォーキング教室」などのスポーツ教室を10種類・計81回開催し、のべ685人の参加があった。多くの方へ健康増進や運動のきっかけづくりの場を提供したことで、運動意欲向上に寄与したほか、ヘルシーパークの推進につなげることができた。



「親子スポーツ教室」の様子



「パークヨガ教室」の様子

安全で快適な公園につなげるキャンペーン

4

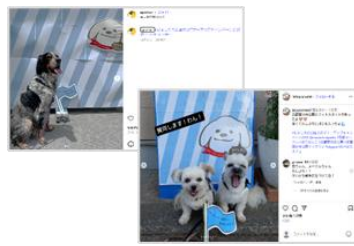
継続したマナー啓発を実施！

ALL Parks

- ▶ 継続してグループで実施している犬・野鳥観察マナーアップキャンペーンでは、それぞれ14年目、9年目を迎え、楽しく周知する工夫を施した。
- ▶ 野鳥観察は期間中の苦情や指導が0件を記録。
- ▶ 犬のマナーアップは効果的な周知により来園者からの情報提供がスムーズになり、迅速な対応につなげた。
- ▶ 長期継続により、利用者に理解が浸透した。



観察会でバッジを配布



フォトブースで撮影された写真がInstagramに投稿された

利用促進のための具体的な取組

5

鉄道機関との広報連携で認知度向上！

- ▶ 西武鉄道の「親子おでかけデジタルスタンプラリー」（開催期間12ヶ月間）と「西武鉄道×リアル謎解きゲーム」なぞたび列車物語 不思議な町の遥かなる想い」（開催期間7ヶ月間）のラリーポイントや謎解きポイントとして広報連携！
- ▶ 参加者が公園に初めて訪れるきっかけとなり、公園の魅力を知ってもらうことができた。



11,12,1月の3ヶ月間で参加者1,300人が訪れた！



大人気の汽車遊具と駅のベンチ！

その他の取組

- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム

- ・パークスキャン＆ランドスケープチェックの実施
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・たんけんカードなどセルフガイドシート配布

- ・西東京市危機管理室との連携
- ・西東京市立保谷中学校との連携
- ・西東京消防署との連携

など



都立六仙公園

所在地：東久留米市
開園面積：7.6ha

< マネジメント目標（六仙公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 芝生広場、みはらし広場等の**原っぱと運動広場や健康遊具**が設置された健康づくりゾーン、地下水が気持ち良い**水景施設等が整備**されている。
- 花壇ボランティアの活動による花壇の花々**が来園者を温かく迎えている。
- 市民企画のイベント関係による地域の人の**コミュニティが再構築**されつつある。

ポテンシャル
分析

テーマ

湧き出す地域コミュニティ

地域
特性

- 「**水の森創造**」をコンセプトに、武蔵野の原風景再現と、隣接する「南沢湧水地」の涵養地としての整備が進んでいる。
- 公園西側、および南側には住宅地や農地が混在し、**地域住民の日常的な利用**が多い。
- 小学校跡地という立地や、近隣に小中学校があることもあり、**子どもたちの利用**が多い。
(中学生の花壇ボランティア活動もある)

地域コミュニティとの連携による地域価値の向上につながる取組取組

1

「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」 過去最多の5,451人が来場し大盛況！

- ▶市民の声を実現する「『あったらいいな』をみんなで作る公園プロジェクト」として、**東久留米市の地場作物「柳久保小麦」をはじめ、産業・伝統など地域の魅力を発信**するイベント。
- ▶小麦製品やクラフト作品、園地にかつてあった第八小学校ゆかりの太鼓演奏など、東久留米の魅力を存分に楽しめる地域に根差した多様なブースを展開。「麦の収穫祭」にちなんだ**小麦にまつわるクイズを解き園内をまわる「クイズラリー」を、パートナーズと実行委員が協働で初実施**した。**出店者数は92店舗、来園者数は5,451人**となり、いずれも**過去最多**となった。
- ▶サービスセンターがオープンしてから初開催となった今回、サービスセンター内の授乳室やトイレの利用が大幅に増加し参加者がより快適にイベント空間を提供した。**東久留米地域の魅力発信と地域コミュニティの構築を目指したイベントとして発展**させることができた。



イベントチラシ



小麦を使った様々な焼き菓子を販売



旧第八小学校ゆかりの太鼓演奏



キッチンカー・農産物を求め
人々が列を連ねた



子どもが楽しめるブースを多く展開



クイズに正解しスタンプを押すようす



管理所会議室を利用した
毎月のミーティング

参加者の声

- ・初めて参加しましたが、想像以上に大きなイベントで驚きました。また是非参加したいです。
- ・子どもから大人まで、自然の中で楽しめるイベントで良かったです
- ・東久留米の素敵なイベント、お店を収穫祭を通して知ることができました！

など

施設の魅力向上につながる取組

2 10回目の「防災キャラバンin六仙公園」開催！公園で防災について考える機会を提供！

- ▶ 地元市民、地元東久留米市と企画運営する「防災キャラバンin六仙公園」の10回目を開催。企画運営の過程で地域コミュニティが形成され、非常時にも役立つ人のつながりをつくる「フェーズフリー」の取組として実施し、今年度認証も取得している。
- ▶ イベント当日は、来場者が楽しく防災を学べる飲食販売、リラクゼーション、クイズやAED体験、消防体験等実施。六仙公園の防災設備を紹介する公園オリジナルの動画も案内し、非常時の公園の役割についても来場者に知ってもらう機会を創出した。



イベントチラシ



イベント関係者みんなで集合写真！

New!



六仙公園の防災設備を紹介する公園オリジナルの動画

New!

【『フェーズフリー』とは？】

いつも（日常時）ともしも（非常時）をフリーにする Phase Free（フェーズフリー）とは、日常時（平常時）と非常時（災害時）のフェーズ（社会の状態）からフリーにして、生活の質（QOL／クオリティ・オブ・ライフ）を向上させようとする、防災に関わる新しい概念（公式HPより）



New!

創意工夫による効果的な維持管理

3 ボランティアと共にサステナブルな維持管理と温かいイベントづくりを実現！

- ▶ 「六仙公園ボランティア」の活動のしるきを公園が構築し直し、ボランティアの活躍の場を拡げた。サステナブルな維持管理の実現や、イベント運営のサポートにおいて活躍！

【六仙公園ボランティア】

市民団体「六仙公園花ボランティア」は、代表の退任をきっかけに、令和7年度より「六仙公園ボランティア」と名称を変更。公園が事務局機能を引き継ぐことで活動を継続し、園内11か所ある花壇の手入れ作業を中心に公園の魅力アップのため活動している。



活動に必要な基本情報をまとめたボランティアブック

活躍①
サステナブルな維持管理の実現

- ▶ ボランティアとつくった腐葉土を園内花壇100㎡に活用。サステナブルな維持管理を実現。



園内の落ち葉を収集！

活躍②
イベント運営のサポート

- ▶ 花壇のお手入れ体験イベントにて、ボランティアが参加者を温かくサポート！



参加者と一緒に水やり

New!

施設の魅力向上につながる取組

4 待望の「こむぎひろば」がOPEN！開園記念イベントを実施



イベントチラシ プレーリーダーが広場全体を見守り遊びをサポート



しょくパン滑り台は一番人気！



スタッフによる朝の遊具清掃

- ▶ アンケートなどの要望から遊具広場がリニューアルされ「こむぎひろば」が完成！連日、開園日の問い合わせが多数寄せられた。多くの方に周知するため、プレーリーダーが遊びをサポートする開園記念イベント「こむぎひろばで遊ぼう」を開催！
- ▶ 来園者は約500人となり、楽しそうに遊ぶ子供たちの笑顔が広場いっぱいに溢れた。イベント当日におこなったアンケートでは100%の満足度をいただいた。

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・「六仙公園ボランティア」との花壇作業
- ・パークスキャン＆ランドスケープチェックの実施
- ・草刈り時のバタランドの創出
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・たんけんカードなどセルフガイドシート配布
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室
- ・PLAY BOOKの配布
- ・オリジナルグッズの販売

など